

令和4年度（2022年度） 第1回豊中市食育推進部会議事録

1. 開催日時：令和4年（2022年）7月4日（月）～7月8日（金）

2. 開催方法：書面開催

3. 案件

- ・次期計画策定に向けての市民意識調査について

（※次期計画とは、「(仮称)健康づくり計画・食育推進計画」のこと、以下「新計画」)

豊中市健康づくり計画と第3期豊中市食育推進計画の期間は、令和5年度末までとなっており、令和6年度からは、健康づくり計画と食育推進計画を統合した「新計画」を策定する予定である。

「新計画」の策定にあたり、数値目標の設定や現状課題の把握を行うため、市民意識調査を実施し計画策定の際に参考とする。

今回の市民意識調査（案）は平成28年度に実施したものをベースに前回と比較できると、社会情勢の変化を踏まえているかという視点で作成しており、食育部会では、そのうちの「栄養と食生活」、「歯や口の健康」に関わる部分について①設問や回答が分かりやすいものになっているか。②社会情勢にあった設問や回答になっているか。について意見を聴取した。

4. 出席者11名（構成委員全12名）

出席委員（順不同、敬称略）

- ・林宏一（部会長、武庫川女子大学教授）
- ・西村節子（委員、関西福祉科学大学教授）
- ・飯尾雅彦（副部会長、(一社)豊中市医師会会長）
- ・笹部努（委員、(一社)豊中市歯科医師会副会長）
- ・森川幸次（委員、(一社)豊中市薬剤師会理事）
- ・田中隆介（委員、(一財)豊中こども財団 経営委員会委員長）
- ・前田雄治（委員、豊中市老人クラブ連合会会長）
- ・山本昌美（委員、豊中市PTA連合協議会副会長会監査）
- ・櫻井徳子（委員、とよなか消費者協会副会長）
- ・西村裕（委員、とよなか市民環境会議アジェンダ21 花と緑のネットワーク食育担当）
- ・上山真紀（委員、市民公募）

5. 議事概要

委員からの主な意見や質問は以下のとおり

期	問番号	委員からの意見等	事務局の考え方と対応
幼 年 期	問 10	「食事の時間を楽しいと感じられますか。」の前には、「子どもとの」、あるいは「家族での」がある方がわかりやすい。	「幼児のいる家庭」という前提で回答できるような記入要領を検討します。
	問 10	「食事の時間を楽しいと感じられますか。」の設問	他の質問とクロス集計をして傾向を導

		は、『食事の時間を楽しい時間にするために何か工夫をされていますか。』のように、答えを引き出す設問が必要ではないか。	き出します。
	問 11	非常食の設問では、平成 28 年のアンケート時には液体ミルクが存在して無かったため、回答に差がでる可能性がある。	液体ミルクが存在するまでは、粉ミルクと水を常備していたため、大きく差はでないと考えます。
	問 13	回答の 2「定期的にうけていたが、」の途中で終わっている。3「コロナの影響で受診を控えている。」とは別に「受けていない」が必要ではないか。(28 年のアンケートとの関連はどうか)	次のように変更します。 2.受けていたが、 <u>コロナの影響で受診を控えている</u> 3. <u>もともと受けていない</u>
	全体	幼年期で 67 問もの質問数に回答してくれる保護者は、食生活に問題がない人が多いと想定されるため、3 か月検診など、問診の一環として記入してもらう方が偏りのないデータが取れるのではないかな。	設問数が多いのは全年代に共通した課題と捉えていますが、幼児期のみ健診データでの調査方式とすると偏りが出てしまうため調査方法はほかの世代と合わせています。
	追加	食事を楽しむ、会話をしながら食事をする、食に関心をもつ、といった内容は乳幼児期や児童期の食育において大切な要素である。感染予防のために、学校等で黙食を強いられる今の子どもたちにとって、それらが家庭でどの程度保障されているのか、また保護者がどの程度意識を持っているか、設問に加えることはできないか。	ご意見ありがとうございます。コロナ禍での課題であり大切な要素だと考えておりますので、今後の参考にさせていただきます。
青年期・壮年期・中年期・高年期	問 1	これは「食事回数」についての設問だが、間食や夜食の状況が把握できる設問があってもよいのではないかな。	間食や夜食の状況は、問 3 夕食の時間から把握します。
	問 10,11	「塩分」でなく「食塩」ではないか。食生活指針でも「食塩」となっている。	前回と聞き方を統一しており、「塩分控えめメニュー」には注釈をつけています。
	問 25	(1)～(7)の設問に、1～5 の答えを当てはめて答えることになるが、回答の仕方が判りにくいように思う。	回答しやすいように表形式に改めます。
	全体	細かい漢字を少なくする、フォントを大きくするなど、見やすくする工夫が必要。	UD フォントなども含め、工夫します。
	追加	青年期以降においては、自分の適正体重を知っておくことが重要であるため、「自分の適正体重を知っているか」の設問もあるとよい。	設問を追加します。
	追加	豊中市民 40 万人のうち、約 4 万人が独居高齢者であり、孤食の解消も食育だと考えるが、それに見合った設問は可能か。	②運動・身体活動に関する設問の、問 30 に加えています。
全体	全体	回答に、分からない、なども含めてはどうか。	「わからない」を回答に加えると、迷った場合に「わからない」を選択される場合が多いことから、「わからない」の選択肢を設定していません。
	全体	重要な質問はどの世代にも同じ質問を入れると、年齢を重ねるにつれてどのように意識の変化が起きるか分かり、有意義だと思う。	ご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。
	全体	アンケート方法(紙 vs ウェブ)で回答に差が生じる可能性もあるため、解析する際には考慮する必要がある。 無作為抽出の際、年齢層だけでなく、男女比率も考慮して抽出した方がよい。(データ回収後、解析したいサブグループのサンプル数を確保するため)	紙とウェブで回答に差が無いものと考えています。 年齢別と男女別に分けて抽出できるよう検討します。(層化抽出法)

・上記の内容を参考にし、市民意識調査に反映できる箇所を検討していく。